



蔦重ゆかりの地

べらぼう 江戸たいとう 大河ドラマ館

令和7年
2月1日[土]

浅草に
開館予定

台東区は大河ドラマ「べらぼう ～蔦重栄華乃夢嘶～」の
主人公・蔦屋重三郎のゆかりの地です。

ESTAJU

べらぼう 江戸たいとう 大河ドラマ館

令和7年2月1日(土)にオープン予定!

大河ドラマ「べらぼう ～蔦重栄華乃夢噺～」が2025年に放送されるにあたり、主人公 蔦屋重三郎ゆかりの地である台東区に大河ドラマ館がオープンします。大河ドラマ館ではドラマの概要紹介や、登場人物の衣装や小道具の展示等を行います。

- 開設場所** 台東区民会館9階(台東区花川戸2丁目6-5)
- 開館期間** 令和7年2月1日(土)～令和8年1月12日(月・祝)
- 開館時間** 9時～17時(最終入館16時30分)
- 休館日** 毎月第2月曜日(第2月曜日が祝日の場合は翌日)、年末年始等
- 入館料** 大人800円、小人400円 ほか
- アクセス** 東武線浅草駅：正面改札口から徒歩5分 ほか

※開館時間、休館日は都合により変更となる場合がございます。



蔦屋重三郎って?



蔦屋重三郎は、寛延3(1750)年に、江戸・新吉原(現在の台東区千束)で生まれ、20代で吉原大門前に書店「耕書堂」を開業しました。「吉原細見」や「黄表紙本」の発行に携わる中で、平賀源内や大田南畝らの文化人との交流を深め、東洲斎写楽や喜多川歌麿ら江戸文化を代表する作家たちを見出し、「江戸のメディア王」として大成功を収めた人物です。

出典：国立国会図書館デジタルコレクション <https://dl.ndl.go.jp/pid/9892706> を加工して作成

また、大河ドラマ館には、お土産の販売や区の観光案内を行う施設も併設されます。

さらに、吉原会館(台東区千束4-24-12)には、
物販・観光案内を行う「江戸新吉原耕書堂」も開設予定です。

大河ドラマ「べらぼう ～蔦重栄華乃夢噺(つたじゅうえいがのゆめばなし)～」

親なし、金なし、画才なし…ないない尽くしの生まれから

“江戸のメディア王”として時代の寵児(ちょうじ)になった快男児・蔦屋重三郎(つたや・じゅうざぶろう)。

天下泰平、文化隆盛の江戸時代中期。

喜多川歌麿(きたがわ・うたまる)、葛飾北斎(かつしか・ほくさい)、山東京伝(さんとう・きょうでん)、

滝沢馬琴(たきざわ・ばきん)を見だし、日本史上最大の謎のひとつ“東洲斎写楽”を世に送り出す――。

主催：台東区大河ドラマ「べらぼう」活用推進協議会 問い合わせ：03-5246-1118(事務局)